

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 11 - 4

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 6		作成日 26年 6月 10日		
事務事業名 公園施設管理業務				シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	6 語らいのあるまち		課名	建設課		係名	都市計画係
		6-1 町民参画のまちをつくる			シート作成者			
	施策	6-1-1 協働によるまちづくりの推進		予算費目	会計		一般	
					款		8	
主要施策	④ 町民団体、ボランティア等の育成・支援		項		4			
			目		2			
個別計画名								
住民との関わり				住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）				
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）					
	住民		公園施設の補修・改修や植樹等の刈り込み・剪定・病害虫の駆除を行い、利用者の安全及び利便性の向上を図る。 住民参画による公園管理を推進し、公園愛護意識の高揚と公園環境の向上を図る。					
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）							
中部公園を除く遊具の管理（37公園）は年6回とし中部公園については利用頻度の多さから年8回の定期点検調査を実施する。点検方法については、鉄鋼物膜厚測定、音響検査、目視検査、ボルト・ナット等締め付け調整を行う。 樹木等の管理（40公園）は、除草を年3回、樹木剪定を年1回実施し、ごみ拾いなどの通常管理は、週1回実施する。 アダプトシステム（地域による自主管理・運営）による活動の拡大・支援を行う。								
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
根拠法令・要綱等		都市公園法						
		平成24年度（決算）		平成25年度（決算）		平成26年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B		59,356		59,356		66,439		
財源内訳	国庫支出金		0		0		0	
	県支出金		0		0		0	
	地方債		0		0		0	
	その他特定財源		8,897		8,364		8,551	
一般財源		47,091		44,722		51,618		
直接事業費（千円）A		53,086		53,086		60,169		
人件費（千円）B		6,270		6,270		6,270		
内訳	一般職員（人・千円）		0.95 人 6,270		0.95 人 6,270		0.95 人 6,270	
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0	
成果指標	成果指標名			単位	25年度		26年度（目標）	27年度（目標）
					目標 実績			
	① 遊具の危険箇所の解消			箇所	—	4	—	
	② ボランティア人数			人	30	30	30	
③								
説明								
公園遊具は、点検調査を行い不具合箇所やその内容を明確に把握し、撤去及び修繕等を迅速に行います。しかし、遊具については年々老朽化が進み危険箇所が増えるため、成果指標（目標）の設定は困難である。ボランティアの募集は、平成18年度から行っているが、啓発年数が浅いため、平成18年度実績を成果指標（目標）に設定した。								

事業名		公園施設管理業務		シート作成課		建設課		
一次評価者		建設課長		二次評価者		建設部長		
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	人と人との交流の場として公園の果たす役割は大きくなっていますので、良好な公園環境を提供するため、施設の安全を維持していく必要があります。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	公園施設は年月と共に摩耗し、破損していくため、施設の維持管理を怠れば事故につながります。利用者の安全確保は重要な課題であります。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持管理、補修業務を通じ公園機能の維持に努め、魅力ある公園づくりに取り組んでいます。	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域住民の公園管理への参加を呼びかけ、住民協働体制を推進することで、管理面のコスト削減が見込めます。また、地域住民が公園管理に目を向けることで環境美化や安全対策など住民参加活動が一層効果が期待できます。	
本事務事業の実施適切性の説明								
公園は地域住民にとって憩いの場であり必要不可欠な施設で、様々な年齢層が利用するためニーズも多様化し、その機能は多岐に及んでいます。したがって、施設の維持管理や補修は安全管理の面からも大切な業務であり、今後も魅力ある公園づくりに取り組んでいく必要があります。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	3	^⑧ B	^⑧ A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	^⑦ ^⑥ D	^⑤ ^⑥ ^⑧ C	
今後の改革・改善目標	公園は地域住民の憩いの場であり、それぞれの地域に見合った公園づくりを地域自らが行う必要があります。町は引き続き遊具等の安全管理の徹底に努めます。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	3	^⑧ B	^⑧ A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	^⑦ ^⑥ D	^⑤ ^⑥ ^⑧ C	
コメント	公園管理については、多額の維持費がかかるため、地域の公園として住民参画を求めコスト削減を図っていくことが必要です。また、遊具の管理については、更に点検・補修を行い安全管理の徹底が必要です。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する			